

ジャパンプラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

4 月度理事会報告

2016年度ガレージ・セール開催決定 新年度の会員名簿が出来ました(同封)ご確認ください

4月2日(土)行われた4月度理事会には8名の理事が参加され、下記の点に付いて討議がなされました。

1) 当初から予定されていたバーリングゲームに於けるガレージセールに付いて北理事が中心となって5月21日(土曜日)及び5月22日(日曜日)の午前8時半より午後3時まで2日間に亘って開催する事に決定した。

過去数年間に蓄積された売れ残り商品を今回のセールで一扫して当会の財政に寄与するこの催しに多くの会員及び友人が参加される事を期待する。

2) 海上保安庁練習船乗員歓迎会の件は紆余曲折の結果最終的に乗員送迎車の手配は保安庁が受け持ち、ブッフェ夕食は市内で食堂経営をされている有志の方が負担し、その他飲み物を含む雑費は共催団体の日米会の負担、総領事館が公邸を提供して開催される事となった。尚この海上保安庁練習船「こじま」(実習生40名及び船長他幹部10名の計50名)は5月13日(金)午前8時にサンフランシスコ Pier-32 に係留されるに際し関係者側から多くの出迎え参加者を要望されている。

5月理事会は5月7日(土曜日)午後1時より予定。
場所はサンフランシスコ日米会事務所

事務局(大隅敏男)

お知らせ このニュースレターに新年度の全会員名簿と緊急連絡網・地域別名簿が同封されています。一度ご確認の上、電話の近くなど目につく所におき何時でも使える様にしておいてください。

ご案内 日本の海上保安庁の練習船「こじま」が海上保安大学校生の遠洋航海実習の途上、5月13日(金曜日) 8:00 A.M. (接岸は多分 8:30 頃) サンフランシスコに寄港します。つきましては出来るだけ多くの方が出迎え、若い訓練生達を激励してください。接岸は32番棧橋 (Pier 32 は Bryant St. が Embarcadero に突き当たった所、Bay Bridge の南側です) で、無料の駐車場があります。参加される方は写真入りの身分証明(運転免許証など)と念のため暖かな衣服をご用意ください。

JAPAN CLUB 川柳 同好会

新しく発足した同好会で
す、皆様の応援をぜひ
お願いします

皆さんも挑戦して
みませんか

今年の新年会では殆ど
の人が初めての川柳創りに
挑戦しました、皆さんもぜひ
応募してみてください、
ご自分が創ると自然に川
柳そのものに興味がわいて
くる事でしょう。

右の要領で今後、年に
2回の公募を決めました
6月末締め切りの兼題

「芽吹く」です
どうぞ振るって応募して
ください、お問い合わせ
はシュミットさん迄

今年の新年会の席で出された席題「笑顔」の句
を掲載します、今回の席題の句も初めての試み
の為当日集った全句を掲載します。

(注) 席題とは当日その場で出されるお題で、参加者はその場で川柳を
作ります。これに対して雑詠(ざつえい)とは特に題を決めずに自由な題
材で作る事、更に兼題(けんたい)は題を予め決めて作る事です。

初孫にオモチャねだられ笑顔でこたえる 神村純子

年初めみんなの笑顔福笑い 青柳伸之

ほんのりと粕汁のんで桃色に マコ

ジャパンプラブ笑いはじける新年会 シュミットまり子

ねぶそくを笑顔に変えてフェースタイム 古田 紘一

ウィスキー一人で抱えて笑顔かな 以下氏名なし

年初め笑顔で迎え縁起良し

同窓会浦島太郎の玉手箱 (注:笑顔の部類にいれました)

人生のガイセン(凱旋)に福笑顔

孫の笑顔につれられて今日もまた

腰の痛みも忘れて草野球する

席題の笑顔に関係なく3句です。

同じ主人と早五十年これから先もいばらの路 氏名なし

山寺の静寂破る鐘の音 大隅 敏男

山とおくおもいでふかいおさな日々 北 良子

川柳同好会の基本方針

- 川柳同好会は年2回(6月末と12月末締め切り)で
雑詠(一人5句まで)兼題(一人5句まで)を募集する
- この中から秀作5句をそれぞれ選出する、さらに特
選1句を同様に選ぶ
- これらの秀作はニュースレター上で紹介する(紙面が
許せば出来るだけ多くの作品を掲載する)
- 今後更に年に一度程度の「川柳同好会」懇親会の開
催なども予定する

お問い合わせ、応募は:シュミットまり子さん

郵送: 1533 Fieldcrest Dr. Pleasant Hill, CA 94523

電話: 925-228-7170

電子メール: sakura_7170@yahoo.co.jp

ご質問などのお問い合わせも上記アドレスをお願いします。

新会員紹介 岩坪(クリステー)恭子さん

長崎県、佐世保市出身、Washington DC 近郊の Virginia 州に移住、DC の Consulting firm 等で会計長を務めながら American University を卒業 (Degree in Business of admin in Accounting) 二人の子供達の大学卒業後現在の主人の転任に伴い Brussels, Belgium に3年あまり滞在、その間主人がローマの NATO 学校で一年に二度教鞭をとる為出張、これに同行してローマの街を隅々迄探検、堪能。

主人の海兵隊からの退役と共に米国カリフォルニアに帰国 San Mateo に永住して早27年程、その間 nonprofit business の controller として勤務、その間にも Real Estate license、Tax enroll agent、その前にはワシントンで private pilot license など、何やら大変忙しい日々を過ごしました、けれどもやっと10年程前に退役、主人も4~5年前に第二の仕事である不動産 development company の vice-president の職から退職、現在は二人で趣味など(主人はゴルフやスキー、私は日本舞踊や物作り)に追われております。

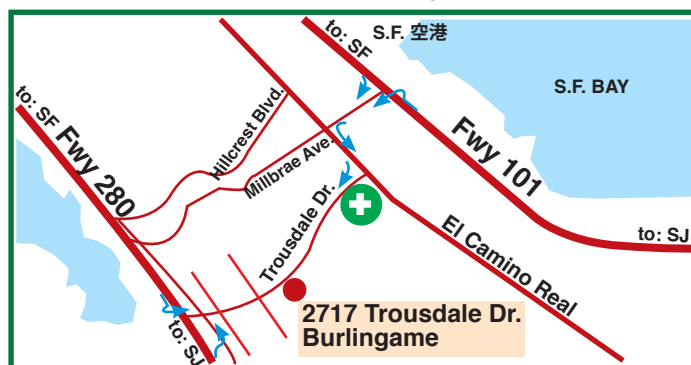
会員の皆様どうぞよろしくお祈りします。

恭子 クリステー

昨年1年間お休みしました ガレージ・セールを2日間にわたり開催します

日時: 5月21日(土曜日) 8:30 A.M.~ 3:00 P.M.
5月22日(日曜日) 8:30 A.M.~ 3:00 P.M.

場所: 2717 Trousdale Dr. Burlingame (下の地図参照)



二年ぶりの開催で係一同張り切っております、ぜひ会員の皆様も下記の2点に付いてご協力をお願いします。

- 1) 商品となる品物 (使わなくなった物など) のご寄付をお願いします。
- 2) 色々な掘り出し物も沢山あります、ぜひこの二日間の内で都合の良い時にお友達も誘って会場にお立ち寄りください、なかなか楽しいですよ。

お問い合わせは: 北哲也理事 (650) 697-4442 又は (650) 714-5958 まで



この欄は会員の皆様に開放されたスペースです、貴方のごだわり、旅の想いで、専門的知識など皆様に伝えたい事をスタイルにこだわらずお寄せください。文字数はおよそ1,000字程度とし、毎月の締め切りは15日です。

東南アジアクルーズ (最終編) (6) シンガポール

大隅敏男

シンガポール、“Singapura” (獅子の都市) マレーシアの古くからの言い伝えに依ると13世紀頃スマトラの王子、サンニラウタマがタマセック砦に近付いた折に不思議な動物に出くわした。その動物はものすごく足が早く、黒い頭で胴体は赤銅色であった。王子は早速この付近の地名を“Singapura”(獅子の地)と名づけた。

14世紀頃にはマレー半島はオランダ、ポルトガル、英国、更にはアラブの人種が入り乱れ、中国との香料の取引でお互いに凌ぎを削った商業活動が展開された。

その後18世紀になって英国が同国の東インド商会が中国及びインドからの商品輸入ルートを確認する為、マレー半島に程近いマングローブの密集する小島、シンガポールを買収、トーマス・スタムフォード・ラッフルズ卿がシンガポール拠点発展に尽力し1824年から1954年迄英国の管理下で発展を遂げた。1954年にシンガポールは独立し、初代総裁に Lee Kua Yew が選ばれた。1960年代の2年間程シンガポールは近隣国、マラヤ、サラワク、及び サバアと組んでマレーシアに属したがその後完全に独立して現在では押しも押されぬ経済都市国家として繁栄している。国民の教育程度は高く、高度の社会保障制度、交通網の近代化、東南アジアの国際貿易拠点等々で国民は潤っている。

旅行者としてシンガポールを訪れて先ず驚かされるのは港湾の船舶滞船数である。何百隻かの外国貨物船団が常時待機しておりその規模の大きさは大荷揚げ港の香港、ロスアンゼルス、ニューヨーク、ゼノア等の比ではない。如何に貿易が経済の大きなシェアに含まれているかが窺われる。次いで観光施設の完備である。勿論ホテルや交通網は近代的に整備され清掃が行き届いている。新聞でも話題になったタバコの吸殻やチューインガムの食べかけを公衆道路に捨てて「百叩き」に遭った人間も少なくない。

殆ど赤道直下の地点にあるにも拘らず清潔を保つシンガポールの住民の多くは華僑で、マレー、インド、ユーラシア人がそれに混じって“多民族都市国家”を形成している。サンフランシスコと同様、土地が狭く、重工業は殆ど皆無に近く、専ら商業/金融/観光都市として生存している結果住民に対する政策は厳しく、例えば自家用車価格は米国で購入する数倍するし、更に購入しても国が発行する10年期限付きの抽選に合格しなければ違反になる。税金が高い訳である。

偶々サンフランシスコ空港に降り着いた日に乗ったタクシー運転手は数年前シンガポールに移住する計画で訪れたが、生活費が高過ぎて真面目な生活が出来ず、諦めて又サンフランシスコに戻ってきたと言っていた。

サンフランシスコは誠に住み易いと云うのが今回の旅の教訓である。

2015年4月号から6回にわたって「東南アジアクルーズ」を連載していただきました大隅敏男さん、ありがとうございました。皆さんもどうぞこの欄にご投稿をお願いします。